

環境学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：SDG s のための資源・材料の循環使用検討分科会

|   |        |   |
|---|--------|---|
| 1 | 所属委員会名 | ○材料工学委員会<br>総合工学委員会<br>環境学委員会   |
| 2 | 委員の構成  | 20名以内の会員又は連携会員  |
| 3 | 設置目的   | <p>2016年の春開催されたサミットでも物質循環フレームワークが報告されたように「材料の循環使用」をどのようにとらえるかについては国際的な関心もたれている。それを踏まえ23期では、平成28年5月23日に材料工学材料の循環使用検討分科会と総合工学委員会持続可能なグローバル資源利活用に係る検討分科会と共催で「素材の循環使用に関するシンポジウム」を開催した。その中で「学術的観点から広く資源循環を訴える姿勢が重要であることを確認し、資源循環が如何に低炭素社会の実現に結び付くのかを明示することが重要である」ことが示された。</p> <p>本分科会は、一昨年から積極的に議論された持続可能な社会達成のための目標（Sustainable Development Goals,SDGs）に大きくかかわる資源の将来性を天然資源と人工資源の両面から学術的に議論する。特に鉱物資源の安定供給は、経済発展と気候変動に大きくかかわる温暖化ガス（CO<sub>2</sub>,フロン）などの発生に大きな関りがあり、できるだけそれらの関係の定量性を議論し、資源・材料工学の学術の進むべき方向性を示したい。</p> |
| 4 | 審議事項   | <p>1.SDG s を考慮した天然資源と人工資源のバランスのあり方</p> <p>2.国際資源循環が SDG s にもたらす影響の定量化、指標作り</p> <p>3.その他 国際資源・材料循環に係わる諸問題に関すること</p>  |
| 5 | 設置期間   | 平成29年11月24日～平成32年9月30日  |
| 6 | 備考     |   |